

# 大府ではもち米 住民の指導受け

## 吉田小児童

大府市吉田小学校五年の百七人が、同市内町で住民と交流しながら、もち米の苗を植えた。

吉田まちづくり協議会が管理する水田で「田植えの伝統を伝えたい」と二十年以上前



を苗も宮  
指導ら、ど  
のがら、ど  
のなる子ら  
を植える大  
住民けなえ  
受を植ち一  
をた内町

から、体験の  
場を設けてい  
る。

横一列に並  
んだ児童は、

恐る恐る田ん  
ぼの中へ。た

めらったり、「カエル

がいた」と悲鳴を上げたりする子らに、協議会のふれあい部員ら二十人が「入ると気持ちいいよ」と声を掛けた。深谷勇人君は「深く植えるのは大変だったけど、食べられると思うとやりがいがある」と満足げ。

十月に稲刈りし、収穫した米で作った餅を味わう。